

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	国内都市交流事業	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	榊	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	国内都市交流事業（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（24年度 23年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 56年度	根拠			
終期設定	有 無	法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	国内・海外都市との交流の推進[09-02]			
目的	生活環境や地域文化の異なる地域の人々との交流を深めることにより、区民に豊かな自然とのふれあいの場を提供し、区民の心の豊かさや相互の町の活性化を図る。平成17年11月に策定した「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、国内外の都市との交流を積極的に推進することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現をめざす。				
対象者等	区民				
内容	<p>秩父市：芝桜とSLの旅（勤福センターで実施）、「区民リンゴ園」リンゴ狩り事業（H3～H16）、「旅立ちの丘コンサート」荒川区民フィルハーモニー合唱団（H19・20）、東京荒川少年少女合唱隊（H21）参加、女性団体の会研修（H22年度）、交流都市フェアin日暮里実施（H21）等 大多喜町：たけのこ狩り（勤福センターで実施） 大多喜お城まつり参加（＜天王太鼓つくも会＞を派遣）、交流都市フェアin日暮里参加（H21年度）等 上越市：上越市観光と物産展参加（＜北島商店＞を派遣）、越後よしかわ酒まつり参加（都電の街グループを派遣）、越の丸なす産品商談会 等 北杜市：北杜ふるさと祭り参加（＜北島商店＞を派遣）等 鴨川市：シーフェスタ inKAMOGAWA参加（＜都電の街グループ・北島商店＞派遣、フラダンスグループ「カ・パ・フラ・オ・カ・ブ・ア・メリア」出演、区長式典出席）等 福島市：ミスビーチキャンペーンクルー市長トップセールス区長表敬訪問、女性団体消費者懇談会、桃の花枝寄贈（区内小学校・公共施設等配付）、うつくしま地域間交流シンポジウム区長出席、防災協定調印、天津水蜜桃が贈呈され植樹式を実施（H19）、区民が震災疎開ツアーに参加、あらかわキャラバン事業にて東京荒川少年少女合唱隊が交流コンサート実施（H21）、交流都市フェアin日暮里実施（H22年度）、女性団体の会研修（H23年度）、被災地応援物産展（H23年8月、9月、10月、12月）等</p> <p>桑折町：「桑折宿」奥州・羽州街道まつり出展者派遣（H22）、こおり桃源郷「桃の郷まつり」参加（＜都電の街グループ＞を派遣）、「汐入まつり」に出店（H21～）等 福井県：高年者クラブ連合会による民謡交流、青年団体連合会が福井訪問（H20）、橋本佐内鞆堂を福井市郷土歴史博物館からふるさと文化館へ移設（H20）福井市郷土歴史博物館から佐内陶像を借用（H21年3月～1年間）、水仙まつりPRのため水仙娘区長表敬訪問、アクト21にて手打ちそば教室を実施 等 小野町：交流事業（荒川区青年団体連合会13名参加（H19）、荒川区尾久交通少年団参加（H20）等 つくば市：ぶどう狩りツアー（勤福センターで実施）、祭りつくば参加、サッカー交流会、野球交流に参加、梅娘区長表敬訪問 等 石川町：視察（H22）、風評被害物産展（伝統技術展、オクノテマルシェ、オクトピア、貨物フェスティバル、交流都市フェアin日暮里、町屋文化センター一日文化体験フェア 等 いずれもH23） 二本松市：視察（H22）、釜石市：釜石市産業まつりに参加（H22）、産業展に出展（H23）、銚子市：銚子市長による区長訪問（H22）、交流都市フェアin日暮里（H23）等 潮来市：救援物資運搬（H22）、成田市、印西市：NN36フェスティバル（H22）、交流都市フェアin日暮里（H23）、その他村上市、射水市、津南町、大垣市、つがる市、三条市、米沢市、広尾町も川の手荒川まつりには出店している。</p>				
経過	<p>秩父市（旧荒川村）：17.4.1合併（S56姉妹提携、H7防災協定・21再調印）、鴨川市：平成元年から交流（H3友好都市提携・H7防災協定）、大多喜町：昭和60年から交流（H7友好都市提携・防災協定）、上越市（旧吉川町）：17.1.1合併 昭和62年から交流（H7防災協定）、北杜市（旧高根町）：16.11.1合併（昭和58年から交流）、福島市、桑折町、石川町：平成6年から交流（福島市H18防災協定、石川町H8防災協定）、釜石市：平成10年から交流（H11防災協定）、村上市（旧荒川町）：平成8年から交流、射水市（旧下村）：平成11年から交流、銚子市：平成15年から交流、潮来市、福井県：平成16年から交流、二本松市（旧東和町平成17年12月1日合併）、小野町：平成17年から交流、つくば市：平成18年から交流（H20年5月友好都市提携）、津南町：平成19年から交流、三条市：平成15年から交流（ブナの植樹）、つがる市：平成16年から交流（学校給食で米等を活用）、大垣市：平成19年から交流（松雄芭蕉開運）、米沢市：平成20年から交流（産業連携協定締結）、広尾町：平成21年から交流（町長が区長を訪問）、成田市、印西市：NN36開通を契機に交流、南アルプス市：平成24年から交流（ABCに職員を派遣）</p>				
必要性	区民の心の豊かさや相互の町の活性化を図るため必要性が高い。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 一部補助事業として勤労者福祉サービスセンターが事業を実施している。				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	969	1,526	2,987	2,630	2,136	1,427	2,005	
決算額（24年度は見込み）	528	491	2,002	1,884	1,601	837	2,005	
人件費等	4,538	3,843	2,965	3,828	4,360	6,098		
減価償却費					1,453	2,239		
【事務分担量】（％）	60	45	35	47	50	72		
合計（+ +）	5,066	4,334	4,967	5,712	7,414	9,174	2,005	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	5,066	4,334	4,967	5,712	7,414	9,174	2,005	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	秩父市交流事業数	3	3	5	5	6	5	
	大多喜町交流事業数	2	2	4	3	3	2	
	上越市交流事業数	1	1	2	3	3	4	
	北杜市交流事業数	0	0	2	2	2	1	
	鴨川市交流事業数	1	2	3	2	2	4	
	福島市交流事業数	3	5	5	4	4	12	
	桑折町交流事業数	1	1	1	3	2	1	
	釜石市交流事業数	0	1	1	1	2	4	
	福井県交流事業数			5	3	3	4	
	小野町交流事業数			3	1	1	1	
	つくば市交流事業数			5	6	6	19	

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	国際交流協会補助	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	山下	内線	2524
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	国際交流協会補助（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業	（ 24年度 23年度 ）	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	5 年度	根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱
終期設定	有	無	年度	法令等	設立趣意書
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	国内・海外都市との交流の推進[09-02]			
目的	区民の国際交流活動の拠点として国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。【協会会則第3条】				
対象者	荒川区国際交流協会				
内容	<p>荒川区国際交流協会の概要</p> <p>設立 平成5年10月21日</p> <p>組織 理事：12人、事務局：5人（区職員兼務）、監事：2人</p> <p>役員 理事長：岡本義雄 副理事長：三嶋重信(副区長) 常務理事：小林清三郎 事務局長：高梨博和(区民生活部長)</p> <p>会員 賛助会員：116件（団体・企業21件、個人95人）</p> <p>協力会員：505人（日本人467人、外国人38人） 24年4月現在</p> <p>目的 区民の国際交流活動の拠点として国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。【協会会則第3条】</p> <p>事業（開始年度）、人数等は23年度実績</p> <p>在在外国人支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人のための日本語教室（13年度：5～12年度では区事業）...年間132回（66回×2コース） 夜教室は計画停電のため1学期休講 留学生等への生活用品支援（6年度）...2回（4月・10月）、ボランティアからの寄付物品を日本語学校等に配付 <p>世界の国々との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> オレゴン州立大学研修生受入支援（13年度）...1人、ウィーン大学研修生受入支援（17年度）...2人 ドナウシュタット区の高校生受入（6年度） 中止、ドナウシュタット区への高校生派遣（9年度） 中止 ドナウシュタット区柔道会受入（21年度のみ） 第32回荒川区産業展への参加（協力事業） 荒川区高齢者クラブ連合会と済州市老人会の民間交流に係る補助(20年度) 日暮里ファッションショーの実施に伴う大連市中山区代表団の受入(18年度) 来日せず 友好提携15周年ウィーン・パリ訪問区民ツアー7人 <p>区民相互の交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の手荒川まつり参加（6年度）...世界の民族衣装試着体験と協会パンフレット等の配布 中止 日本語スピーチコンテスト（7年度）...発表者17人、ボランティア20人程度 防災ハイク（21年度）...今後は日本語教室受講生に対しての体験講座へシフトしていく予定 国際交流サロン（6年度）...盆踊り：台風により中止 ・国際交流バスハイク（6年度）...鴨川市訪問60人 茶道教室（13年度）...月2回、延べ122人 計画停電により1学期は2-4時で実施 着付教室（14年度）...国際交流サロン盆踊りで同時開催とシフトしたが台風により中止 <p>国際理解事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語サロン（10年度）...週1回×2コース、ボランティアによる自主運営 日本語ボランティア養成講座（6年度）...24回（12回×2コース）、受講者37人（昼18人夜19人） <p>広報調査事業 機関紙の発行（5年度）...17年度より「関係団体ニュース」「ライフサポートニュース」へ名称変更、事務局より(月1回)、荒川区産業展出展（9年度）</p> <p>その他 ボランティア通訳の派遣、翻訳、各種公共・民間等主催事業の共催・後援・協力など</p> <p>東日本大震災支援関係...潮来市へホットコーヒー提供、外国人のための防災講座</p>				
	経過	<p>自主財源は会費及び事業収入等で、12年度までは総収入の15%程度であったが、区の補助金減少、賛助会員の増強や新たな受益者負担により、15年度以降は45%程度となった。17年度は済州市、大連市中山区との友好都市提携に伴う、区補助金増のため、自主財源率は38%となった。18年度は41.8%、19年度は37.2%、20年度は32.7%、21年度は36.7%、22年度は37.6%、23年度は31.7%である。</p>			
必要性	<p>多文化共生意識を育み、世界に開かれた街としての荒川区の魅力や活力を高める（荒川区都市間交流に関する取組み方針 H17.11 ）という区の方針を実現するために事業を行っている団体であり、支援は不可欠である。</p>				
実施方法	<p>（ 1直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）</p> <p>協会より派遣依頼を受け、区民生活部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員として兼職。</p>				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	11,632	6,547	6,247	6,147	6,147	5,147	6,147	
決算額(24年度は見込み)	9,530	4,382	5,857	5,603	4,950	3,343	6,147	
人件費等	11,102	11,102	11,011	10,587	11,336	11,010		
減価償却費						4,043		
【事務分担量】(%)	130%	130%	130%	130%	130%	130%		
合計(+)	20,632	15,484	16,868	16,190	16,286	18,396	6,147	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	20,632	15,484	16,868	16,190	16,286	18,396	6,147	
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	協力会員(人数)	328	348	325	382	428	502	550
	賛助会員(件数:団体+個人)	78	104	101	106	129	94	100
	補助金の協会事業に占める割合	58.2%	62.8%	67.3%	63.3%	62.4%	68.3%	60.4%

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	負担金補助及び交付金	国際交流協会補助	4,950	国際交流協会補助	3,343	国際交流協会補助	6,147

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
	協力会員・賛助会員数	488	557	596	650	700	個人+団体数
	協会事業参加者数	4,264	3,315	2,981	3,500	3,800	日本語教室等は延べ人数

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協会の事業などを積極的にPRすることによって、参加者、協力会員、賛助会員を増やし、協会の自主財源率の向上に努め、財政基盤を確たるものとする必要がある。 来日して間もない外国人区民が、生活を送る上で必要な手続きをスムーズに行えるよう、積極的に支援していく必要がある。
他区の実況	（実施 8 区 未実施 14 区） 東京都国際交流団体連絡会議

問題点・課題の改善策	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
国際交流協会のホームページや事務局便り、区営掲示板を活用し、実施事業の周知を図り、協会事業への継続的な参加者を増加させる。それとともに、事業に見合った参加費のあり方を検討し、協会の自主財源率の向上を図る。	平成24年度の取組みを踏まえ、国際交流協会のホームページや事務局便り、区営掲示板をより積極的に活用し、実施事業の周知を図り、協会事業への継続的な参加者を増加させる。また、事業に見合った参加費のあり方の検討を継続し、協会の自主財源率の向上を図る。
外国人にわかりやすい生活便利帳を作成するとともに、協会のホームページを多言語版にリニューアルする。また、来日して間もない外国人区民に協会事業に積極的に参加してもらい、地域コミュニティで安心して暮らせるよう、積極的に支援する。	平成24年度の取組みを踏まえ、外国人のための生活便利帳及び協会のホームページを更新するとともに、来日して間もない外国人区民に協会事業に積極的に参加してもらい、地域コミュニティで安心して暮らせるよう、積極的に支援する。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として区が重点的に支援することが必要である。

況議（要旨）	
--------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	海外都市交流事業	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	山下	内線	2524
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	海外都市交流事業(01-03-02)				
事務事業の種類	新規事業	(24年度 23年度)	建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	5 年度	根拠	友好都市提携協定
終期設定	有	無	年度	法令等	国際化推進員設置要綱
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	国内・海外都市との交流の推進[09-02]			
目的	海外都市に対する区民の関心を高めることにより、世界に開かれたまちとしての荒川区の魅力や活力を高めるとともに、産業交流等により区内の優れた技術や製品を広くアピールする。（荒川区都市間交流に関する取り組み指針）				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ドナウシュタット区（オーストリア共和国ウィーン市）...平成8年10月21日提携 ・済州市（韓国済州道）...平成18年2月17日提携 ・中山区（中国大連市）...平成18年3月10日提携 ・コーバリス市（アメリカ合衆国オレゴン州）提携調印は無し 				
内容	海外友好都市等との都市間交流、連絡、調整及び相互訪問等 ・ドナウシュタット区：ドナウシュタット区柔道会来区、高校生相互派遣（国際交流協会主管）、ウィーン大学生の荒川区での研修受入 ・済州市：区民ツアー、済州市研修生受入、ABC卒業生の短期派遣、ドルブルへの参加 ・中山区：区民ツアー、産業交流（日暮里ファッションショー）、ABC卒業生の短期派遣 ・その他：オレゴン州立大学研修生受入				
経過	<ドナウシュタット区> ・4年度 児童生徒絵画展 ・5年度 荒川区長ドナウシュタット区（以下、ド区）訪問 ・6年度 ド区高校生受入（以後11、14、23年度を除き毎年） ・7年度 荒川少年少女合唱隊ド区訪問 ・8年度 友好都市提携調印・ド区長来区、荒川公園で記念植樹（さくらの木）・9年度 荒川区高校生ド区へ派遣（以後23年度を除き毎年） ・13年度 提携5周年記念荒川展ド区で開催、南千住駅東側にドナウ広場・ドナウ通り完成、ド区に荒川通り開通、交流壁画、区民ツアー（協会事業）・14年度 ド区代表団を迎えドナウ広場で彫刻「ドナウの調べ」除幕 ・18年度 友好都市提携10周年記念事業、区民ツアー・19年度 荒川区柔道会ド区訪問 ・20年度 荒川区代表団訪問、ド区訪問団来日（コンサート開催、お菓子教室開催、産業展への参加） ・21年度 日頃修好140周年事業（在日大使館で荒川区展を開催予定だったが、新型インフルエンザ流行で中止） ・22年度 23年友好提携5周年記念事業打合せのため、ウィーン出張 ・23年度 東京荒川少年少女合唱隊を8月派遣（31名）、区民ツアー（7名）実施 <済州市> ・17年度 済州市市制施行50周年記念式典に荒川区議会副議長ほか出席、両区・市長の相互訪問、友好都市提携調印、荒川区にて済州写真展開催・18年度 荒川区写真展（済州市と共催）を済州市で開催、代表の相互訪問、区民ツアー（協会事業） ・19年度 済州市職員研修生の受入 ・20年度 荒川区高齢者クラブ連合会と済州市老人会との相互訪問・交流、済州市職員研修生の受入、トルハルバン受贈及びお披露目式、済州市長代表団の訪問、ドルブルへの代表団派遣 ・21年度 荒川区高齢者クラブ連合会と済州市老人会との友好提携調印式出席、済州市老人会受入、荒川区高齢者クラブ連合会済州市訪問区民ツアー、済州市長代表団受入、ABC職員短期派遣 ・22年度 友好提携5周年記念区民ツアー2月 ・23年度 済州市老人会受入、ドルブルへの職員派遣 <大連市中山区> ・17年度 両区長の相互訪問、友好都市提携調印、荒川区産業展において大連文化展開催 ・18年度 友好都市提携調印式（中山区）、代表団相互訪問、産業交流（日暮里ファッションショー・産業展）、大連市少年野球チームの小学校訪問と区少年野球チームとの交流試合（大連ウィーク）、区民ツアー（協会事業） ・19年度 区民ツアー（協会事業）、日暮里ファッションショーへの参加 ・20年度 日暮里ファッションショー（以下、日暮里ファ）への参加、区立第三中学校及び尾久宮小学校の訪問 ・21年度 日暮里ファへの参加、大連市中山区職員研修生受入、ABC職員短期派遣 ・22年度 日暮里ファへの参加、友好提携5周年区民ツアー（大連・上海）9月 ・23年度 日暮里ファへの参加 <コーバリス市> ・4年度 児童生徒絵画展（以降7年度まで相互開催） ・5年度 コーバリス市長夫妻荒川区訪問 ・6年度 区長コーバリス市訪問、荒川区職員研修生コーバリス市派遣 ・9年度 オレゴン州立大研修生受入（2名11年度・15年度を除き毎年1名来日） 9年度以降は大学との交流のみ <その他> ・シंगाポール：区立中学生2年生をシガポール市・マレーシア（クアラルンプール市・マッカ市）に派遣（昭和59～平成10年度）、中学生派遣10周年記念でシガポール市・マレーシア（クアラルンプール市・マッカ市）小中学生受入（7～13年度） ・北京市通州区ほか：小中学生の学校訪問による交流など				
必要性	荒川区を世界に開かれたまちとして、産業・観光・芸術文化・スポーツなどの広範な分野にわたる交流を深めていく必要がある。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ウィーン大学・オレゴン州立大学研修生の受入を除き、交流事業は基本的に荒川区国際交流協会が実施。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
予算額	18,399	16,292	15,388	12,689	12,500	16,954	12,825	
決算額（24年度は見込み）	18,399	10,279	12,954	9,674	11,263	15,713	12,825	
人件費等	5,124	5,124	5,082	3,583	3,488	2,541		
減価償却費						933		
【事務分担当】（%）	60%	60%	60%	40%	40%	30%		
合計（+）	23,523	15,403	18,036	13,257	14,751	19,187	12,825	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	23,523	15,403	18,036	13,257	14,751	19,187	12,825	
実績推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	海外出張旅費支出人数	30	9	11	3	13	4	4
	海外受入・訪問団体数	6	3	5	4	2	1	3

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報酬	国際交流推進員報酬	7,822	国際交流推進員報酬	7,909	国際交流推進員報酬	7,912
	共済費	国際化推進員社会保険料	1,068	国際化推進員社会保険料	1,061	国際化推進員社会保険料	1,074
	旅費	交流都市訪問等	2,011	交流都市訪問等	1,300	交流都市訪問等	2,110
	食糧費	訪問団等賄い	167	訪問団等賄い	200	訪問団等賄い	900
	一般需用費	交流都市訪問団賄・記念品	91	交流都市訪問団賄・記念品	14	交流都市訪問団賄・記念品	210
	役務費	翻訳・通訳	77	翻訳・通訳	185	翻訳・通訳	510
	使用料	携帯電話レンタル等	372	携帯レンタル・バス借上げ	50	携帯レンタル・バス借上げ	109
	負担金及び交付金			東京荒川少年少女合唱隊ウィーン派遣補助金	4,995		

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
標	訪問回数	6	3	3	3	5	荒川区 交流都市
	受入回数	12	4	2	3	5	交流都市 荒川区

（問題点・課題分析）	<p>友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連市中山区との交流について、広く区民に交流実績及び交流意義についてPRしながら、継続的な交流事業を推進していく必要がある。</p>
	<p>（実施 21 区 未実施 1 区）</p> <p>姉妹・友好都市提携状況</p>

問題点・課題の改善策		
	平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
	<p>・ドナウシュタット区との交流 荒川区国際交流協会事業のウィーン高校生相互派遣事業を支援しつつ、広く区民に交流実績をPRしながら継続的な交流事業を推進していく</p>	<p>・ドナウシュタット区との交流 荒川区国際交流協会事業のウィーン高校生相互派遣事業を引き続き支援しつつ、24年度の取り組みを踏まえ、広く区民に交流実績をPRしながら継続的な交流事業を推進していく</p>
	<p>・済州市との交流 NPO法人荒川区高年者クラブ連合会の民間交流を支援しつつ、広く区民に交流実績をPRしながら継続的な交流事業を推進していく</p>	<p>・済州市との交流 NPO法人荒川区高年者クラブ連合会の民間交流を引き続き支援しつつ、24年度の取り組みを踏まえ、広く区民に交流実績をPRしながら継続的な交流事業を推進していく</p>
	<p>・大連市中山区との交流 大連市の小学生など視察希望者を積極的に受け入れつつ、広く区民に交流実績をPRしながら継続的な交流事業を推進していく</p>	<p>・大連市中山区との交流 大連市の小学生など視察希望者を引き続き積極的に受け入れつつ、24年度の取り組みを踏まえ、広く区民に交流実績をPRしながら継続的な交流事業を推進していく</p>

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業である。

議会議事録 （要旨）	
---------------	--

事務事業分析シート（平成24年度）

No1

事務事業名	あらかわキャラバン事業	部課名	区民生活部文化交流推進課	課長名	浅岡
		担当者名	関	内線	2522
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（24年度）	あらかわキャラバン事業（01-07-01）				
事務事業の種類	新規事業（24年度 23年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	20年度	根拠		
終期設定	有 無	25年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			
	施策	国内・海外都市との交流の推進[09-02]			
目的	荒川区と交流都市との交流は、双方の地域の祭りに参加するなどして、名産品の紹介・販売や、人と人との交流は図られてきたが、芸術・芸能・文化面で各都市を代表する団体・個人の交流は十分ではないため、キャラバンとして区を代表する団体・個人を交流都市等へ派遣し、交流・公演をすることにより、区の芸術文化面を紹介するとともに、区民の芸術文化活動を促進する。				
対象者等	荒川区内で、交流都市へ出かけて文化・交流事業を展開できる団体及び個人。				
内容	派遣団体とは、キャラバン隊として5年程度の間、毎年、異なる交流都市に出向いて、交流活動を行う。区は、交流都市との調整を実施するとともに派遣に必要な交通費、宿泊費等の必要経費を負担する。また21年度まで国内都市交流事業として区内団体を派遣していた鴨川市及び大多喜町との交流事業についても、22年度から事業を組み替えキャラバン事業として実施。				
経過	区事業でも実績のある荒川少年少女合唱隊を交流都市へ派遣して、現地で交流都市の合唱団とジョイントコンサートを実施し、合唱隊（団）同士の交流事業に参加している。【平成20年度】つくば市、【平成21年度】福島市、【平成22年度】鴨川市（震災の影響で中止）【平成23年度】釜石市で 特養老人ホームあいぜんの里コンサート、釜石合唱協会交流コンサート、釜石シープラザコンサート等の交流を行った。その他、区内のダンスグループを鴨川市、太鼓団体を大多喜にそれぞれ派遣。				
必要性	荒川区と交流都市との交流は、双方の地域の祭りに参加し、名産品を紹介・販売するなどが中心になっているが、それぞれの都市を代表するような団体の交流は伝統芸能分野の他は十分に図られていない。芸術・芸能・文化の面で、荒川区から区を代表する団体・個人を紹介するという面を強調する必要がある。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

		（単位：千円）						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算・決算額等の推移	予算額			882	1,824	1,796	1,986	1,918
	決算額（24年度は見込み）			701	1,316	120	1,379	1,918
	人件費等			2,710	2,850	2,616	2,964	
	減価償却費					872	1,089	
	【事務分担当】（%）			32	35	30	35	
	合計（ + + ）	0	0	3,411	4,166	3,608	5,432	1,918
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	0	0	3,411	4,166	3,608	5,432	1,918
実績の推移	事項名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度

事務事業分析シート（平成24年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成22年度（決算）		平成23年度（決算）		平成24年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	報償費	指導料等	0	指導料等	114	指導料等	164
	旅費	職員旅費	0	職員旅費	125	職員旅費	147
	食糧費	食糧費	22	食糧費	0	食糧費	155
	一般需用費	記念品、消耗品等	0	記念品、消耗品等	28	記念品、消耗品等	50
	その他の通信運搬費	キャラバン隊交通費	0	キャラバン隊交通費	516	キャラバン隊交通費	58
	保険料	保険料	0	保険料	13	保険料	25
	使用料及び賃借料	バス借上げ・宿泊料	98	バス借上げ・宿泊料	583	バス借上げ・宿泊料	1,319

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (25年度)	
	参加団体等の数	1	1	2	3	4	あらかわキャラバン隊として参加する団体の数
	訪問都市数	1	1	2	3	4	キャラバン隊が訪問する交流都市の数

（問題点・課題分析）	<p>キャラバン隊として区を代表するような団体の発掘を行う。 荒川区を代表する団体・個人を選ぶため、キャラバン隊のあり方や選考基準を検討する。 派遣する交流都市の調査・事前の調整・準備の必要がある。</p>
他区の実況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度に取り組む具体的な改善内容	平成25年度以降に取り組む具体的な改善内容
A C C や社会教育課等からの情報収集に努める。	キャラバン隊としてふさわしい個人・団体を発掘する。
キャラバン隊のあり方や選考基準を検討する。	荒川区を代表して、区のPRにつながるような団体・個人をキャラバン隊に選出するための基準や選考について検討する。
前年度から交流都市へ打診し、受入れ協力の可能性等、調整を行う。	事前に交流都市へアンケートを行い、新たな芸術団体との交流につなげる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	芸術文化面で区を代表する個人・団体を交流都市に派遣し、交流促進とともに芸術文化振興を図る。

議会議況（要旨）	
----------	--